

総持寺と私 (No. 7)

先の地震によって、仏殿(山門をぐぐって右の大きな建物)、法堂(境内正面の最も大きな建物)、座禅堂(境内左の建物)が大きな被害を受けました。中でも座禅堂は全壊で現在取り壊されてしまいました。仏殿、法堂も傾きが大きく、大改修が必要だと聞いています。

さて、この仏殿に『すりこぎ』と『しゃくし』があります。すりこぎとしゃくしといっても家庭の台所にあるような代物ではありません。仏殿の床から天井までの高さですから5メートルはあるでしょう。そんな巨大な『すりこぎ』と『しゃくし』が廊下の柱につるしてあるのです。

そして、それぞれに張り紙があります。

大すりこぎには 『己が身^{おの}をすりへらしてぞ人のため 世のためつくす御仏の慈悲』

大しゃくしには 『己が身は水をも火をもいといたく すくい上ぐるぞ御仏の慈悲』

子どものころ、このすりこぎを使う人はどれだけ大きいんだろう、これを使っていったい何の料理をしたのだらうと不思議に思ったものです。しかもこの材料は豆の木だということですから2度びっくりです。イギリスの昔話のような豆の木が総持寺にもあるのです。